

経済学部Ⅱ「日本史」

2026年度入学試験

訂正(問題)

日本史

問題冊子

P1

I 問1

【誤】 工 文徳

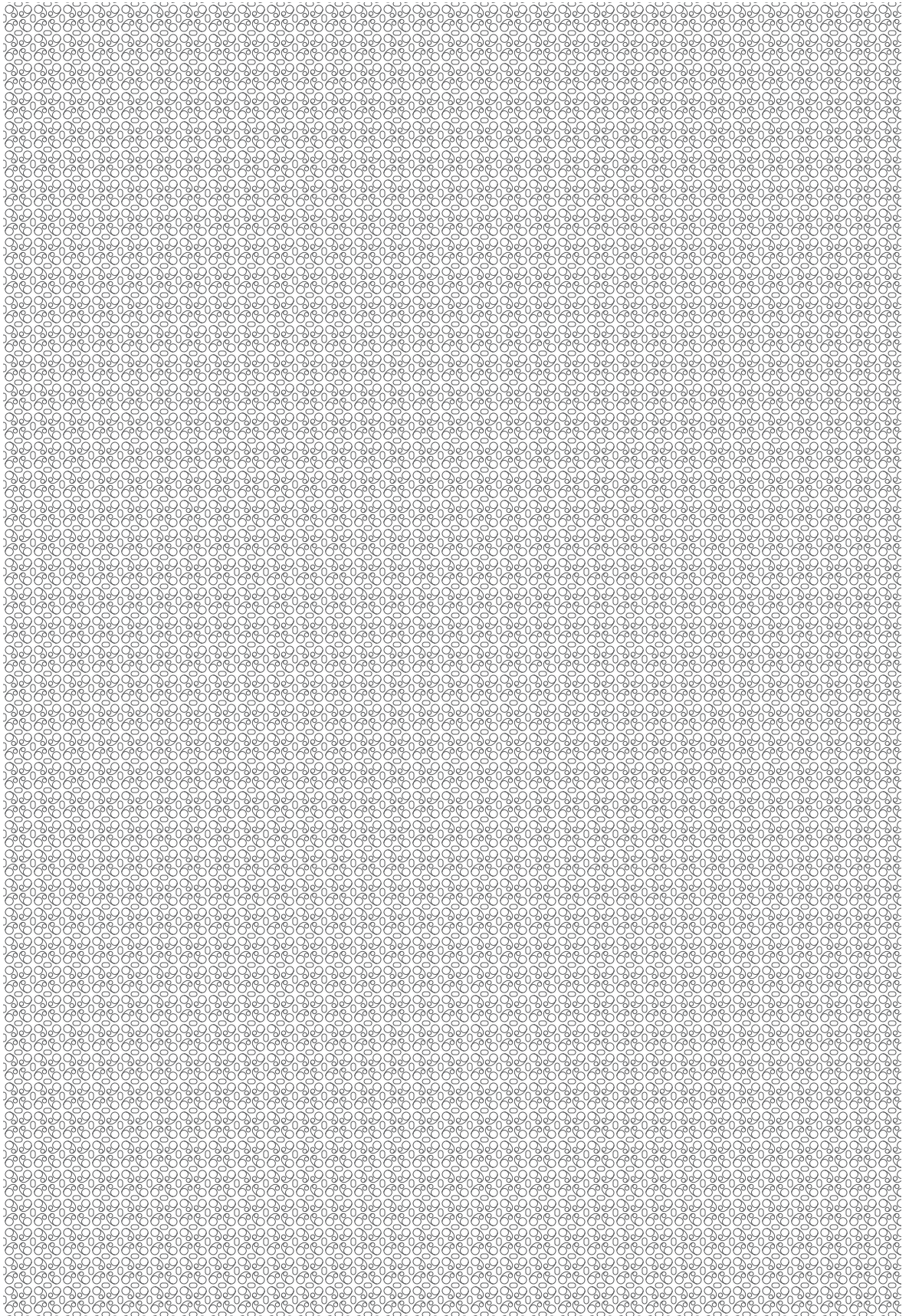
【正】 工 嗟峨

2026年度入学試験問題

日本史

(試験時間 13:25～14:25 60分)

1. この問題冊子が、出願時に選択した科目のものであることを確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、マーク解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄にマークしてください。解答欄以外にマークすると無効となります。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、一度マークした箇所を修正する場合、しっかりと消してください。消し残りがあると、解答が無効となることがあります。また、消しくずを残さないでください。
5. 解答用紙を折り曲げたり、汚したりしないでください。
6. 解答用紙には、必ず受験番号と氏名を記入・マークしてください。未記入や記入・マークミスなどがあった場合は、当該科目の解答は無効となります。



I 次の文章〔A〕,〔B〕と史料〔C〕(原文から仮名づかい,句読点を加える等適宜修正している)を読み,下記の設問に答えなさい。(20点)

〔A〕

858年,文徳天皇が31歳の若さで没すると,9歳の幼帝 1 天皇が即位した。史上初めての幼帝の出現は,皇位に就くことのできる皇統が限定された結果であった。866年に^①応天門の変をきっかけとして藤原良房が摂政に任じられ,続く基経は,阿衡の紛議をへて関白となった。良房・基経の段階では,摂政・関白の職掌は定まっておらず,^②10世紀以降とは区別して考える必要がある。

問1 空欄 1 にあてはまる人名を1つ選び,その記号をマークしなさい。

- ア 陽成
- イ 光孝
- ウ 清和
- エ 文徳
- オ 淳和

問2 下線部①についての記述として正しいものをすべて選び,その記号をマークしなさい。なお,適切な選択肢がない場合にはオをマークしなさい。

- ア 天皇が出した勅書をめぐって,政務が滞った事件である。
- イ 皇太子恒貞親王が廃された事件である。
- ウ この事件を題材に,後に絵巻物が制作された。
- エ 大納言伴善男は,左大臣を応天門の炎上事件の犯人だと名指しした。
- オ ア～エのなかに適切な選択肢はない。

問3 下線部②の時期の出来事を年代順に並べたとき、3番目にくるものと4番目にくるものをそれぞれ1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 藤原道長が伊周との政権争いに勝ち、内覧となった。
- イ 平将門が常陸・下野・上野の国府を襲撃した。
- ウ 左大臣源高明が失脚した。
- エ 菅原道真が失脚した。
- オ 延喜の荘園整理令が出された。

〔B〕

中世の日本では、農業^③や手工業の発達とともに、商業活動も活発になった。各地で特産物がつくられるようになり、それらを運ぶための交通網^⑤も発達した。

問4 下線部③に関連して、応仁の乱以前の日本列島では栽培されなかった作物を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア たばこ
- イ 蕎麦
- ウ こうぞ 楮
- エ えごま 荏胡麻
- オ 桑

問5 下線部④に関連して、戦国期までの日本の経済に関する記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 蔵人所を本所とする灯炉供御人（鋳物師）と呼ばれる集団が諸国を売り歩くようになると、幕府は収入の増加をもくろみ、彼らから関銭や津料を徴収した。
- イ 中世の日本では、大量の労働力を必要とする入浜式塩田にかわって、潮の干満を利用する揚浜式塩田が広まっていった。
- ウ 室町時代には経済の発達にともなって輸入銭が不足したため、鎌倉時代には盛んだった年貢の銭納はすたれていった。
- エ 火山の多い日本列島で採取された硫黄は、火薬の原料として日本から海外にさかんに輸出された。
- オ 室町時代になると、都市だけでなく農村や山村においても、商品をならべる見世棚をもつ常設の小売店が一般的になった。

問6 下線部⑤に関連して、1445年の1年間にある港におかれた関を通過して京都方面に向かった船の数が、1960隻にのぼったことがわかっている。「ある港」として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 淀
- イ 敦賀
- ウ 小浜
- エ 堺
- オ 兵庫

〔C〕

蓋し聞く、律は懲 肅^(注1)を以て宗と為し、令は勸 誠^(注2)を以て本となす。格は則ち時を量りて制を立て、式は則ち闕けたるを補い遺れるを拾う。……古は世賢時素にして法令未だ彰ならず。無為にして治まり、肅せずして化す。推古天皇十二年に暨び、^⑥上宮太子親ら憲法十七箇条を作り、国家の制法^(注3)茲より始まる。降りて天智天皇元年に至り、令廿二巻を制す。世人の所謂る近江朝廷の令なり。爰に文武天皇の大寶元年^(701年)に逮りて、贈太政大臣正一位藤原朝臣^(二十) 、勅を奉りて律六巻⁽⁷⁾、令十一巻を撰す。養老二年復た同大臣^(718年) 、勅を奉りて更に律令を撰し、各十巻と為す。今世に行う律令は是なり。……律令は是れ政に従うの本たり。格式は乃ち職を守るの要たり。方今、律令は頻りに刊 脩を経たりと雖も、格式は未だ編輯を加えず。……今古を商量し、用捨を審察し、類を以て相従え、諸司に分隸す^(注4)。……上には大寶元年より起こし、下は弘仁十年に迄る、都て式 冊巻^(四十)、格十巻と為す。

(注1) 懲肅 こらしめ慎しませる (注2) 勸誠 善をすすめ悪をいましめる

(注3) 制法 制定された法 (注4) 諸司に分隸す 官庁ごとに分類する

問7 下線部⑥の人物についての記述として正しいものの組み合わせを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a この人物は、推古天皇の子である。
- b この人物がヤマト政権の中枢にいたときに、小野妹子が隋の皇帝のもとに遣わされた。
- c この人物は、大官大寺建立の中心であった。
- d この人物の妃が、この人物を偲んで刺繍させたものが、中宮寺の天寿国繡帳だとされている。

- ア a・b
- イ a・c
- ウ a・d
- エ b・c
- オ b・d
- カ c・d

問8 下線部⑦の年よりも前にあった出来事をすべて選び、その記号をマークしなさい。なお、適切な選択肢がない場合にはオをマークしなさい。

- ア 平城京に遷都した。
- イ 最初の遣唐使が派遣される。
- ウ 和同開珎の銅銭がはじめて铸造された。
- エ 蓄銭叙位令が定められた。
- オ ア～エのなかに適切な選択肢はない。

問9 史料中の2か所の空欄

2

 にあてはまる人名を1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 鎌足
- イ 不比等
- ウ 仲麻呂
- エ 武智麻呂
- オ 房前

問10 この史料から読み取れる記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 式は不足を補うものである。
- イ 古い時代は世の中も純朴で法令がはっきりと示されていなかった。
- ウ 天智天皇のときには「近江朝廷」で令が作られた。
- エ 現在施行されているのは養老年間に作られた律令である。
- オ この史料が書かれた時点までに何度も律令格式の編纂や修正が行われた。

Ⅱ 下記の設問に答えなさい。(30点)

問1 豊臣秀吉の時代の諸政策や文化に関する記述として正しいものを2つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 朝鮮に従軍した奉公人らを調査し、その逃亡を摘発することを兼ねつつ、武家奉公人・町人・百姓の職業別に家数や人数が調査された。これによって諸身分が確定することになり、兵農分離が進む一因となった。

イ 五奉行は、秀吉の死後も戦時体制を維持するため、5人の有力武将に軍の指揮権限を集中させたもので、朝鮮における軍勢の撤退もこの五奉行が決めた。軍事専門の組織であるため、この五奉行には、財政など行政実務を統括するような権限はなかった。

ウ 土地の価値を貫高^{かんだか}、つまり銭の量で算定したものを石高といい、また課税はその土地に対してなされたため、土地で生産される米以外の商品作物やその土地で商売をする商取引も石高制の対象に組み込まれ、農業中心から商業中心への転換が進んだ。

エ 太閤検地の検地帳には、作人の記載はなかったが、その土地の等級、面積、石高、さらには地主やその土地を統括する武士の情報が詳細に記録されており、その土地の耕作管理に関する責任関係が明確にされた。

オ 刀狩令とは、農民層の自衛権を強化し、農作物や家畜への獣害や盗賊の襲撃などから村を守るために、刀や脇差^{わきざし}などの武器所持を許可したものであり、農村を保護して年貢を確保するための政策の一環であった。

カ 桃山文化は武士階級中心の質素で閉鎖的な文化である。侘茶^{わび}を大成した茶人であり、妙喜庵待庵の住職でもあった千利休(宗易)に代表されるように、室町文化よりもさらに仏教色が強まり、商人や町人層が関わるものではなかった。

キ イエズス会のヴァリニャーノは活字印刷機の輸入に尽力した。そのため、活字印刷術の普及によってキリスト教の宗教書以外にも日本の古典や日本語辞書も刊行された。

問2 江戸時代の産業に関する記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 都市の発達に伴い建築資材として材木需要が高まり、尾張藩では木曽杉、秋田藩では秋田檜のように、藩の管理する山林から伐り出された材木を商品化することが進められた。

イ 魚介類の獲得方法として発達した網漁の技術は、常陸や房総の漁民から全国に広まった。網で大量に獲得できたため、鮮度の落ちやすい鱒^{いわし}などは、鮮魚として消費しきれない分は保存加工されずに海へ投棄されていた。

ウ 大蔵永常^{ながつね}は『農具便利論』で各農具の利用法を、また『広益国産考』^{こうえきこくさんこう}で各作物の栽培法を紹介した。その後、それらの内容を体系的にまとめたものが宮崎安貞^{やすさだ}の『農業全書』であり、これが日本で最初の体系的農書となった。

エ 「油絞り」とよばれた油の生産者は、油菜の菜種や綿花の種子などから油をしぼった際に残る大量の絞り粕^{かす}を廃棄処分するには非常に手間がかかるため、金肥^{きんぴ}として農家に金銭を支払って引き取ってもらい、農家はそれを肥料にしていた。

オ 農業技術としては、鉄製の刃先が3～4本に分かれた備中鍬が普及し、これによって深く耕すことが可能となった。また脱穀器具は拔箸^{こきばし}から千歯^{せんば}拔へ、揚水機も竜骨車^{ふみぐるま}から踏車^{とうみ}へと改良された。そして選別用具としては唐箕^{とうみ}や千石^{せんごく}簸^{どおし}が普及した。

問3 江戸時代の貨幣や金融に関する記述として正しいものを2つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 金貨を鑄造する金座は江戸と京都におかれた。また銀貨を鑄造する銀座はまず伏見や江戸など複数のところにおかれたが、その後、最終的には天皇のもとで鑄造の質を管理するために京都において一本化された。
- イ 後藤庄三郎が鑄造した小判や一分金は品質が良く、秤量貨幣^{しょうりょう}として使用できるほどに金の含有量も安定していたが、丁銀や豆板銀などは質が劣っていたために、枚数や額面を基準にする計数貨幣として利用するよう幕府に義務付けられた。
- ウ 寛永期に江戸や近江の坂本などの銭座で大量に鑄造され、全国的に供給された銭貨が寛永通宝である。
- エ 金貨、銀貨、銭貨の三貨のうち、両替商により金貨と銀貨との間では交換できたが、銭貨は質が劣っていたために金貨や銀貨とは交換できない金銀複本位制であった。
- オ 貨幣は、幕府が定めた交換比率でのみ交換されており、両替商であっても、交換比率が変動する相場で貨幣を交換することはできなかった。
- カ 金貨、銀貨、銭貨の三貨が併存していたが、貨幣取引が煩雑にならないよう、これら三貨の貨幣単位はいずれも「両・分・文」として統一されていた。
- キ いくつかの藩は、領内に流通させることを目的とした藩札を発行した。

問4 江戸時代の三都に関する記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 18世紀前半ころ、京都は町方の人口が約50万人、これに武家や寺社の人口を加えると100万人前後の人口規模と推定される。またこれに次ぐ、江戸や大坂の人口も35万から40万人ほどであった。

イ 17世紀半ばまで約300であった江戸の町数は、相次ぐ大火や飢きんにより18世紀半ばにはその10分の1にまで減少した。

ウ 諸藩の年貢米や特産物を販売するためにおかれた蔵屋敷は、商業の中心地であった大坂に集中していたが、ほかにも江戸・長崎・大津などにもおかれた。

エ 蔵屋敷の蔵物の出納・売却を取り扱う蔵元と、売却代金の保管や各藩への送付を担う掛屋があり、不正な取引を防止するために両者を同じ商人が兼務することは固く禁じられていた。

オ 京都の特産である西陣織は高級な綿織物で、明から伝わった高機^{たかばた}を用いた特殊な織法により、京都のなかの職人だけで独占的に生産することが幕府によって許されていた。

問5 江戸時代の商業に関する記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 17世紀末に、江戸には二十四組問屋^{といや}、また大坂には十組問屋^{とくみ}という商品別の問屋の仲間が結成された。

イ 豪商の三井家は越後国で越後屋呉服店を開くことから始まり、その後1673年に江戸に本店をおき、さらにその10年後には駿河国でも呉服店を出店するなど全国的に展開した。

ウ 江戸で創業した豪商である鴻池は、海運業や両替商、大名貸などで財を成した。3代目善右衛門は新田の開発も行った。

エ 大坂の堂島新地には大名の蔵米を一手に扱う米市場ができた。その後、それは米の相場所として公認され、その規模から全国の米相場を左右するほどであった。

オ 一大消費都市であった江戸には、高級魚を扱う日本橋と一般向け魚を扱う雑喉場^{ざぼ}というように、2か所の大規模な魚市場があった。

問6 享保の改革に関する記述として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 上げ米とは、幕府の財政不足を補うため、大名に対して石高1万石につき1割に当たる千石の米を臨時に上納させたものである。そのかわりに参勤交代による在府期間を1割短縮させて負担を減らした。

イ 家柄に関係なく能力の高い人材を登用するために、江戸幕府の役職に就任した者の禄高がその役職の基準高に満たない場合、その不足分が在職期間中のみ支給されるようになった。

ウ 平賀源内を登用して甘藷^{かんしょ}を普及させたほか、砂糖の原料となるさとうきび、^{ろう}蠟の原料となる^{はぜ}樫・また薬用となる朝鮮人参などの栽培を進めて、新しい産業を奨励した。

エ 相对済し令は、金銭貸借に関する民間の経済紛争について、当事者同士では強者優位になりやすいため、当事者だけで解決しようとせず、幕府へ訴え出るように命じたものである。

オ 公事方御定書は、幕府への訴えが急増した金銭貸借や商取引に関する経済紛争を当事者だけで判断できるように、当事者のみによる合理的な和解の基準や方法を定めた民事限定の法令書であった。

問7 江戸時代の文学や出版に関する記述として正しいものを2つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 蔦屋重三郎が経営する耕書堂から出版された作品は、町人など大衆に活気を与える効果があるとして幕府からも推奨され、田沼意次による出版統制令においても処罰の対象にはならなかった。

イ 貸本屋は庶民に広く読書の機会を提供し、多くの文芸作品の流通を支えた存在であったが、幕府の厳しい取り締まりにより、風紀を乱すものとして貸本屋は全面的に廃止されたため、19世紀初頭には江戸においてほとんど見られなくなった。

ウ 読本^{よみほん}は、当初は武家の子弟向けに編纂された、図絵を主とする道德書であった。江戸に始まったが、のちに大人向けの教養書に転じるにつれ、上方へも普及した。

エ 黄表紙とは、主に漢文訓読体による長編の小説であり、挿絵や紙面装飾などはほぼなかったが、訓み下し文^よの音読が心地よく、視覚よりも聴覚で楽しむ朗読向けに作られたものであった。

オ 賀茂真淵一門の国学者に師事し、本居宣長と論争をしたことでも知られる上田秋成には『雨月物語』という読本の代表作がある。ここで著わされた各物語の素材は日本や中国の古典から採られている。

カ 川柳とは、五・七・五・七・七の形式を持つ短詩形である。武士がこの形式を用いて自身の教養を表現し、主従の関係や忠義の心を詠むことが多く、武家の礼法を伝える手段として普及した。

キ 石川雅望^{まさもち}は、狂歌を大田南畝^{なんぼ}から学んだ。また、江戸で旅館業を営んでいたこともあり、「宿屋飯盛^{やどやのめしもり}」という戯号を用いて狂歌を詠んだ。

問8 江戸時代の終わりごろに雄藩として台頭したA～Eの藩に関する記述としてもっとも適切なものを記述群から、位置としてもっとも適切なものを地図から、それぞれ1つ選び、その記号をマークしなさい。

- A 越前
- B 薩摩
- C 土佐
- D 長州
- E 肥前

〔記述群〕

ア 藩主の徳川齊昭は藩政改革を断行したが、とくに齊昭の死後は藩内の保守派の反対などもあり最終的に改革は成功しなかった。財政は厳しかったものの、藩校弘道館での教育や『大日本史』の編纂など学問には注力し、尊王攘夷論に大きな影響を及ぼした。

イ 調所^{ずしよひろさと}広郷が改革の中心となって、莫大な藩債を長期年賦返済にして事実上の棚上げにする一方、特産物の専売制の整備や、琉球王国を通じた密貿易などによって藩の財政を再建した。さらに反射炉の築造や造船所、ガラス製造所などの建設も進められた。

ウ 藩の財政再建策に取り組んだ村田清風は、藩の特産物であった蠟の専売制を改革した。また、越荷方において、藩内の港湾都市を通る廻船の積荷（越荷）を抵当にして資金を貸し付けたり、積荷（越荷）を買い取って委託販売したりして莫大な利益を得た。

エ 藩主山内^{とよしげ}豊信は、吉田東洋などの「おこぜ組」と呼ばれる改革派の藩士たちを起用して藩政改革を断行した。この藩からは、勤王派の板垣退助や、吉田東洋の門下の後藤象二郎や岩崎弥太郎などが輩出され、その後の明治時代に大きな影響を及ぼすことになった。

オ 藩主鍋島直正は藩の農政改革としてまず小作料の納入を猶予した。さらに、小作地をいったん収公してから一部を地主に戻し、残りは小作人に分配することで小作人を本百姓にするという均田制が実施された。またオランダから学んで日本初の反射炉が築造された。

カ 藩主の松平慶永よしなが しゅんがく（春嶽）は藩内の商人らと協力して財政の再建や人事の刷新を行い、由利公正や橋本左内などを招いて藩政改革を進めた。特産物としては打刃物などがある。

[地図]



Ⅲ 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。(30点)

19世紀半ば以降、幕末の混乱を経て明治に入ると、日本は近代国家の建設に向けて、大きく舵を切る。1871年から欧米各国を視察した岩倉使節団^①の一行は、煙を吐いて走る蒸気機関車^③や蒸気船など、現地で目の当たりにした産業革命の進展^④に強い衝撃を受ける。彼らは帰国後、様々な近代化政策^⑤を推進することとなる。

日本の近代化は、当初は欧米の技術や制度の導入に依存しつつも、やがて日本独自の展開^⑥をみせていく。繊維産業を中心に重工業も発展し、工場では多くの労働者が働くようになり、生活様式にも変化が生じた。経済発展に伴い、雑誌や映画といった娯楽^⑦が形作られていった。こうした大衆文化の広がりには、普通選挙法の成立^⑧に結果した社会の民主化^⑨とも結びついていた。

しかし、こうした動きは、アメリカで始まった世界恐慌^⑩によって、転換を迫られた。経済の立て直しの過程^⑪で、財閥への資本の集中^⑫が起こる一方で、欠食児童や娘の身売りがみられる^⑬など、一般庶民の生活は困窮することとなった。

このような背景のもと、日本は軍事的な拡張政策を取り、第二次世界大戦へと突き進むこととなる。日本の近代国家は、敗戦後のG H Qによる民主化政策^⑬によって、新たな秩序の構築が試みられることとなった。

問1 下線部①に参加した人物をすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア 伊藤博文
- イ 大久保利通
- ウ 大隈重信
- エ 木戸孝允
- オ 福沢諭吉

問2 下線部②を実用化した人物として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

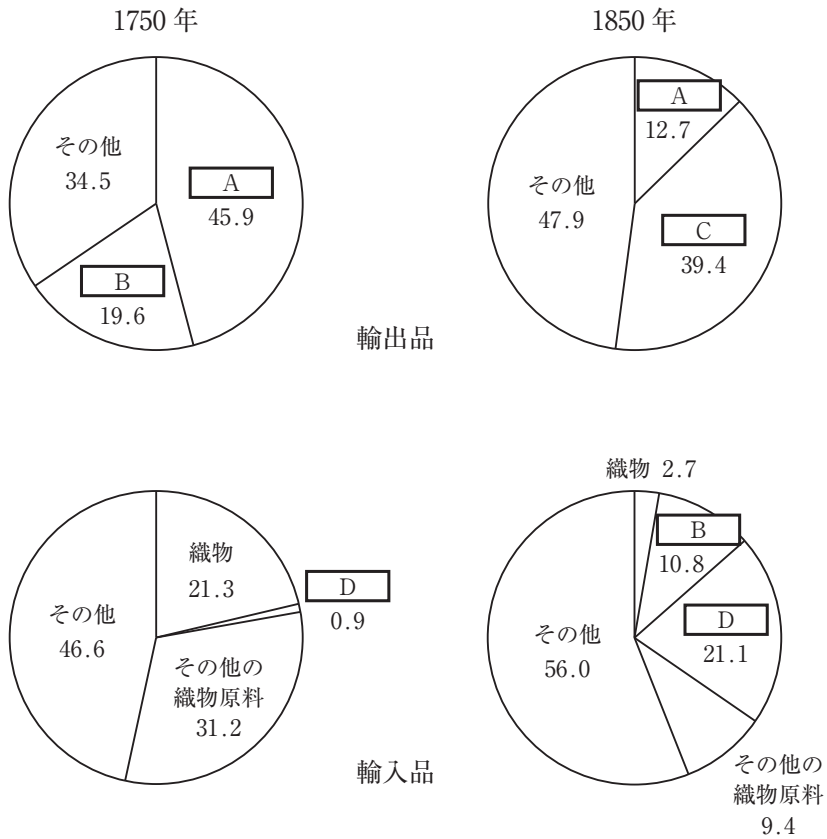
- ア スティーヴンソン
- イ ニュートン
- ウ フルトン
- エ モース (モールス)
- オ ワット

問3 下線部③に関連して、スエズ運河に該当する地図上の場所として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。



問4 下線部④に関連して、次の図1の空欄 ～ には、下のア～エの各品目名があてはまる。このうち、, , に入る品目名を1つずつ選び、その記号をマークしなさい。

図1 イギリスの輸出入品の変化(%)



出所) 『イギリス歴史地図』より作成。

- ア 原綿
- イ 毛織物
- ウ 穀物
- エ 綿製品

問5 下線部⑤に関連した日本での出来事 a～c を古い順に並べたとき、その順序として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 新橋・横浜間に鉄道が開通した。
- b 東京の銀座通りで電灯が実用化された。
- c 東京・横浜間で電信が開通した。

ア a → b → c

イ a → c → b

ウ b → a → c

エ b → c → a

オ c → a → b

カ c → b → a

問6 下線部⑥に関連して、辰野金吾が設計した建物として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 開智学校
- イ 第一国立銀行
- ウ 東京駅
- エ 富岡製糸場
- オ 鹿鳴館

問7 下線部⑦に関連した出来事 a～c を古い順に並べたとき、その順序として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a 明六雑誌の発刊
- b トーキョーの上映開始
- c ラジオ放送の開始

- ア a→b→c
- イ a→c→b
- ウ b→a→c
- エ b→c→a
- オ c→a→b
- カ c→b→a

問8 下線部⑧に関連して、表1は、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、フランス各国で普通選挙が実現した年をまとめたものである。このうち、イギリスを示したものとして正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

表1 各国の普通選挙の導入時期（年）

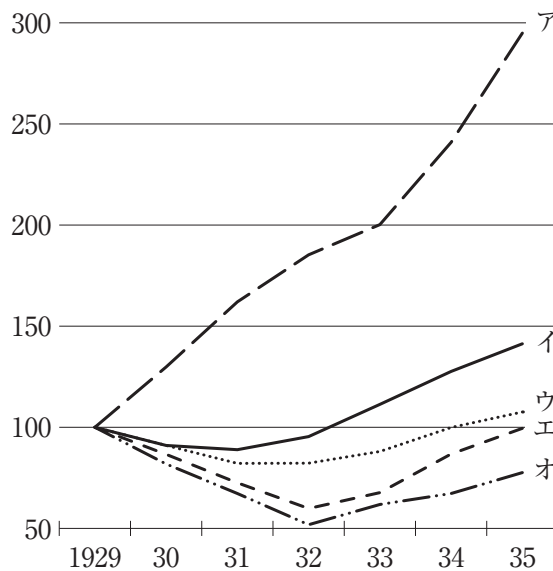
国名	ア	イ	ウ	エ	オ
男性	1848	1870	1871	1918	1925
女性	1945	1920	1919	1928	1945

問9 下線部⑨に関連して、韓国で起こった三・一独立運動時の日本の内閣総理大臣として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 加藤友三郎
- イ 高橋是清
- ウ 寺内正毅
- エ 原敬
- オ 山本権兵衛

問10 下線部⑩に関連して、次の図2は、世界恐慌後における、アメリカ、イギリス、ソ連、ドイツ、日本の製造業生産指数（1929年の数値を100としたもの）の推移を示したものである。このうち、日本を示したものとして正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

図2 各国の製造業生産指数の推移（1929年=100）



出所) 宮崎犀一ほか『近代国際経済要覧』より作成。

問11 下線部⑪に関連して、景気が後退した時には、政府が意図的に公共事業などを行い、景気を刺激する政策を取らなければならないと主張したイギリスの経済学者として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア ケインズ
- イ フランクリン・ローズヴェルト
- ウ マルクス
- エ リカード
- オ リスト

問12 下線部⑫に関連して、次の文章X～Zと下の財閥名a～cとの組み合わせとして正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

X—この財閥は、江戸時代の両替商を基盤とし、明治期には金融や商業部門を中心に発展した。

Y—この財閥は、創業から行っていた海運や、保険のほか、炭鉱や造船などの重工業部門にも進出して発展した。

Z—この財閥は、江戸時代の銅商・両替商に端を発し、四国にある銅山の経営を中心に発展した。

a 三菱

b 三井

c 住友

ア a—X b—Y c—Z

イ a—X b—Z c—Y

ウ a—Y b—X c—Z

エ a—Y b—Z c—X

オ a—Z b—X c—Y

カ a—Z b—Y c—X

問13 下線部⑬に関連した出来事 a～c を古い順に並べたとき、その順序として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

a 自作農創設特別措置法の制定（第二次農地改革）

b 独占禁止法の制定

c 労働組合法の制定

ア a → b → c

イ a → c → b

ウ b → a → c

エ b → c → a

オ c → a → b

カ c → b → a

Ⅳ 次の文章と史料（原文から漢字や仮名づかい、句読点を加える等適宜修正している）を読み、下記の設問に答えなさい。（20点）

我が国における戦後の高度経済成長は、市民社会に様々な変化をもたらした。大量生産、大量消費による大衆消費社会は消費革命をもたらし、電気器具や自動車といった耐久消費財が普及し、生活の利便性が向上した。また、高度経済成長を象徴する国際的イベントとして、オリンピック東京大会や日本万国博覧会（大阪万博）が相次いで開催され、世界に向けて日本の戦後復興を示すとともに、日本人の生活様式や文化に様々な影響を与えた。

一方、高度経済成長は深刻な社会問題をもたらした。人口集中によって都市部が過密化する一方、地方では過疎化が進み、地域社会のつながりが失われ、都市部だけでなく地方の農村部などでも社会生活に影響が出始めた。都市部では、慢性的な交通渋滞、騒音、大気汚染といった問題が発生した。また、企業の工場などから排出される有害な汚染物質を川や海に垂れ流しにする状況も頻発し、各地で住民運動が起こった。なかでも、四大公害訴訟ではいずれも原告側が勝訴する結果となった。このようななか、1960年代から1970年代にかけて、東京都、大阪府、京都府などをはじめ、多くの地方自治体で経済発展よりも市民生活の安定や環境問題への対応を重視した 首長が誕生した。

（史料）

第1条 この法律は、事業者、国及び地方公共団体の の防止に関する責務を明らかにし、並びに の防止に関する施策の基本となる事項を定めることにより、 対策の総合的推進を図り、もって国民の を保護するとともに、 を保全することを目的とする。

2 前項に規定する の保全については、経済の健全な発展との調和が図られるようにするものとする。

第2条 この法律において とは、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる相当範囲にわたる大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤沈下（鉱物の掘採のための土地の掘さくによるものを除く。以下同じ。）及び悪臭によって、人の

- 3 又は 4 に係る被害が生ずることをいう。
- 2 この法律にいう 4 には、人の生活に密接な関係のある財産並びに人の生活に密接な関係のある動植物及びその生育環境を含むものとする。

問1 下線部①に関する記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 白黒テレビの普及に伴い、テレビCMによって消費者の購買意欲が掻き立てられ、「消費は美徳」という風潮が芽生えた。
- イ 白黒テレビ、電気洗濯機、電気冷蔵庫は三種の神器と呼ばれ、1960年代から1970年代にかけて大幅に普及率が高まったが、白黒テレビに関してはカラーテレビの登場とともに、次第に普及率は低下していった。
- ウ 庶民の消費意欲が喚起されたため需要が大幅に増加して供給が追いつかず、物価が上昇し狂乱物価と呼ばれる社会現象を巻き起こした。
- エ スーパーマーケットが普及し、中間業者を通さずに流通させて安価な商品の供給を可能にする流通革命が起こった。
- オ 名神高速道路や東名高速道路が相次いで開通し、全国に高速道路網が整備され、マイカーでの移動が普及し始めた。

問2 下線部②について、高度経済成長期に開催された「オリンピック東京大会」に関する記述として正しいものの組み合わせを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- a オリンピック東京大会は1968年に第19回大会として開催された。
- b オリンピック東京大会開催に合わせて、東京と新大阪間に新幹線が開通した。
- c 1940年に開催予定であったオリンピック東京大会が戦争によって中止されたため、この大会がアジア最初のオリンピック大会となった。
- d オリンピック東京大会と同じ年にカラーテレビの放送が始まった。

- ア a・b
- イ a・c
- ウ a・d
- エ b・c
- オ b・d
- カ c・d

問3 下線部③について、高度経済成長期以降の日本と諸外国との関係に関する記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 1964年に日本は経済協力開発機構（OECD）に加盟し、資本の自由化を促進した。
- イ 1965年に佐藤栄作内閣は韓国政府と日韓基本条約を結んだ。
- ウ 1972年に田中角栄首相は訪中し、日中共同声明を発表し、日中国交正常化を実現した。
- エ 1975年にアメリカ・日本・西ドイツ・イギリス・フランス・イタリアの6カ国首脳による先進国首脳会議が開催され、先進国間の経済政策を調整した。
- オ 日中共同声明に基づき、1980年に大平正芳内閣は中国政府と日中平和友好条約を結んだ。

問4 下線部④について、高度経済成長期に、当時の社会背景を題材に社会派推理小説という分野を確立し、代表作『点と線』を著した作者で知られる人物として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 司馬遼太郎
- イ 三島由紀夫
- ウ 松本清張
- エ 大江健三郎
- オ 石原慎太郎

問5 下線部⑤に関する記述として正しいものをすべて選び、その記号をマークしなさい。

- ア 1961年に制定された農業基本法によって、農業構造改善事業に多額の補助金が支給されたが、農家の所得は低迷したままであった。
- イ 大都市への人口集中により、都市部の地価が上昇し、郊外でニュータウンといった宅地開発が進められた。
- ウ 農村および山村地帯から都市への人口移動がとくに著しかったが、1950年代から1970年代にかけて、就業人口に占める農業人口の比率に大きな変化はみられなかった。
- エ 都市部への人口集中に伴い、通勤電車の車内は定員を大幅に超過することも頻発し、通勤地獄と呼ばれた。
- オ 高度経済成長のもと、地方の農村などへの求人が増え、若者が集団で都会の企業などに就職する集団就職が定着した。

問6 下線部⑥に関する記述として誤っているものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 水俣病は、新日本窒素肥料の熊本県水俣工場から流されたメチル水銀の汚染が原因であり、1956年に最初の患者が報告されている。

イ 新潟水俣病は、新潟県の阿賀野川上流にあった昭和電工鹿瀬工場からの排水に含まれる有機水銀が原因で発生し、症状は水俣病と類似している。

ウ イタイイタイ病は、富山県神通川上流の三井金属神岡鉱山から流出したカドミウムという有害物質が原因であり、骨がもろくなり激しい痛みを伴う。

エ 四日市ぜんそくは、三重県四日市市にある石油化学コンビナートの工場群から排出された煙による大気汚染が原因であり、呼吸器疾患を伴う。

オ 四大公害訴訟によるすべての訴訟が終結した後に、政府は環境庁を設置し、各省庁で分散していた公害行政と環境保全政策を一本化した。

問7 空欄 にあてはまる語句としてもっとも適切なものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

ア 社会

イ 市民

ウ 革新

エ 福祉

オ 環境

問8 空欄 ～ にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

	<input type="text" value="2"/>	<input type="text" value="3"/>	<input type="text" value="4"/>
ア	公害	健康	生活環境
イ	環境破壊	資産	生活環境
ウ	公害	資産	公衆衛生
エ	環境破壊	生活環境	公衆衛生
オ	公害	健康	資産
カ	環境破壊	健康	公衆衛生
キ	公害	生活環境	資産
ク	環境破壊	健康	資産

問9 史料の法律として正しいものを1つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア 環境基本法
- イ 公害対策基本法
- ウ 同和対策事業特別措置法
- エ 地域改善対策特別措置法
- オ 新産業都市建設促進法

